

本会議・予算常任委員会 12月定例会で審議された補正予算

■一般会計補正予算 主な内容

一般会計補正予算（第11号）	冬のプレミアム観光支援事業費 2,700万円、旧石黒（恵）家公開事業費 2,702万円など
国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	コロナによる国保減免措置に伴う国庫補助、神代診療所のコロナ対策備品など
介護保険特別会計補正予算（第2号）	にしき園のコロナ対応備品購入など
病院事業会計補正予算（第2号）	発熱外来用のプレハブ設置費 100万円、マイナンバー保険証導入によるシステム改修など
一般会計補正予算（第12号）	ふるさと納税寄付金の増 2億円、ひとり親世帯臨時特別給付金（コロナ対応） 1,746万円

本会議・
予算委員会での質疑

冬のプレミアム観光支援
観光券発行事業の内容は妥
当なのか

質問 事業内容は？

答弁 新型コロナに関連した市の独自策として、冬期間の観光を下支えするためプレミアム観光券を発行するものである。土産店、宿泊、飲食に利用できる。発行額4,000万円、発行枚数4万枚で、1人当たり1枚500円で額面1,000円として使える観光券を20枚セット（額面2万円 総数2,000セット）購入できる。国内在住者が誰でも対象で、ハガキの申込により抽選となる。

質問 コロナ第3波の状況で国内全てを対象にするのはいかがなものか。また、発行セット数が2,000セット（予算額2,000万円）のみであるにも関わらず、広告費等も含め経費を700万円もかけるのは納得できない。

答弁 国内の感染状況や国の動向に応じて対象範囲を変更する必要がありと考えている。新聞広告掲載は東北6県を予定している。

「冬のプレミアム観光券」～委員会での議論を経て、対象地区や最大購入額、発行セット数などが変更～

変更前（案1）	変更	変更後（案2）
発行額 4,000万円 枚数 4万枚（2,000セット）		発行額 4,600万円 枚数 4.6万枚（4,600セット）
購入枚数 1人1セット（20枚 額面2万円分）まで		購入枚数 1人1セット（10枚 額面1万円分）まで
購入方法 事前申込みによる抽選		購入方法 事前申込みによる抽選
利用対象 全国 利用期間 1月中旬～3月末		利用対象 秋田県内 利用期間 1月中旬～3月末
総事業費 2,700万円		総事業費 2,700万円
観光券充当経費 （500円×4万枚）2,000万円		観光券充当経費 （500円×4.6万枚）2,300万円
広告費 （東北地方6紙、ネット、ポスター）342万円		広告費 （県内紙、ネット、ポスター）62万円
印刷費 55万円		印刷費 60万円
運営管理費 （観光協会へ委託 事業費の10%）240万円		運営管理費 （観光協会へ委託 事業費の10%）242万円
消費税 64万円		消費税 36万円

【議会政務活動費を廃止 コロナ対策費へ】
 議会政務活動費は仙北市議会の場合、議員1名あたり月額1万円が支給されています。今年度は、コロナ対策に充当させるため既に自主返納しておりますが、12月定例会では来年度以降も同様にコロナ対策に充当させるため、政務活動費を廃止することと決定し、「議会基本条例」などの関係条例の改正やそれに伴う規則等の改廃を行いました。

議決結果/議員賛否 令和2年 第7回 仙北市議会定例会(招集日:11/27 最終日:12/18)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名	議決月日	議決結果	議員															
				蒼生会					クラブ民					公明党	共産党	無党派			
件名				小林幸悦	高橋蒙	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田修	伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一	小木田隆	熊谷一夫	平岡裕子	高久昭二
議案第163号	令和2年度仙北市一般会計補正予算（第11号）	12/18	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	議長	賛	反
議員提出議案第16号	意見書の提出について（75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める意見書）	12/18	原案可決	反	反	反	賛	反	賛	反	反	賛	反	賛	賛	賛	議長	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載していません。